

画面に出ても、あわてないで！ パソコンサポート詐欺に注意！

昨年も佐伯警察署管内に限らず、いわゆる「パソコンサポート詐欺」が発生しています。

「パソコンサポート詐欺」とは、自宅などでインターネットを使用した際、急に画面上に「ウイルスに感染しました。次の電話番号にかけて指示に従ってください」と、あたかも「パソコンウイルスに感染した」と思いこませ、手ぐすね引いて待っている犯人に電話をかけさせます。



PC画面に表示された詐欺画面の一例

犯人の電話で「パソコンを元に戻すための手続きに入る」と、言葉巧みに信用させ、その指示で、コンビニ等で売られているギフトカード等を購入させた後に、そのカード番号を犯人に伝えさせ、その購入金額分を犯人に全部持っていかれる犯罪。これこそが「パソコンサポート詐欺」です。

いざ、自分がその立場になると焦ってしまいがちですが、落ち着いて、身近な家族等に相談し、犯人の手に乗らないようにしましょう！



旧年中は、いろいろとお世話になりました。世界中で猛威をふるってきた新型コロナウイルスも、日本においては収束したかに見えていますが、新種の変異株・オミクロン株の確認など、予断を許すことはできません。これまで通り感染防止に意識されて、皆さんにとって充実した一年になることを祈念いたします。本年もどうかよろしくお願いたします。

令和四年 五月が丘交番一同

あけましておめでとうございます



賀正



謹んで初春をお祝い申し上げます。

旧年中は大変お世話になりました。石内各地で地域の安全・安心活動へご参加ご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年も石内の安全・安心に取り組んでまいりますので、変わらぬご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和四年正月

響きあう石内ネットワーク 会長 杉田康之



石内の子どもを石内で守る 石内の安全・安心を守る会

石内小児童と響きあう石内ネットワークとで「安全・安心」を考える「石内の安全・安心を守る会」が11月16日、石内小学校でありました。児童から日頃の見守り活動へお礼の手紙が披露され、会へ出席した6人へ手渡されました。

児童からお礼のお手紙をいただきました



児童からの手紙には「いつも見守ってくれて、ありがとうございます。朝早くに立って、あいさつをしてくれて、私たちもうれしいです」などとあり、これからの見守り活動への励みになりました。

11月22日は「子ども安全の日」

広島市では2005年（平成17年）11月22日に起きた安芸区矢野西小の事件から、毎月22日を「子ども安全の日」と定め、家庭・学校・地域で子どもの安全を守る取組を推進しています。とくに、事件のあった11月22日は事件の風化を防ぎ、継続して子どもの安全を地域全体で守るよう取り組む日としています。

その11月22日に近い朝会で「石内の安全・安心を守る会」は行われました。

大切な石内の子どもたちの明るい未来を守るためにも、石内全体で石内の子どもたちの安全・安心を見守っていきましょう。

ホームページを見てね！

響きあう石内ネットワークは、広島市の地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」を利用したホームページを開設しています。

響きあう石内ネットワークの活動情報や石内小学校の様子、石内学区の「安全・安心」情報などを随時発信中です。響きあう石内ネットワーク通信もご覧いただくことができます。ぜひ、ご覧ください！

検索はこちらから

<https://www.com-net2.city.hiroshima/ishiuchi/>



不審者情報

【日時】11/24(水) 午後 5:10 頃
【場所】河内南2丁目(彩が丘) **声かけ**

■公園で遊んでいた女子小学生らが、見知らぬ男(20代、180～、中肉、茶髪、黒色半袖の上衣、黒色長ズボン)に「また会ったね」と声をかけられた。

【日時】12/9(木) 午後 10:20 頃
【場所】下河内 **露出**

■自転車で帰宅中の女子高校生が、男(40代、160～170、中肉、短髪、黒色ジャンパー、灰色スウェットズボン)に露出した下半身を見せられ、追いかけられた。

女性を狙う事案が多発中！

■女児や女性への露出、声かけ、つきまとい等の事案が発生しています。

■夜間に歩く際は、できるだけ明かりのある、人通りのある道を歩くようにしましょう。

■不審者などに遭遇したら、警察へご連絡ください。

●危険を感じたら、「大声で助けをもとめる」「防犯ブザーを鳴らす」などするとともに、すぐに110番通報しましょう。

●佐伯警察署(☎082-922-0110)



子どもと地域を守る防犯力⑧

家の中でも気をつけて 一人留守番の危険性①

できれば避けたい「子ども一人だけの留守番」。しかし、家庭の状況によっては、どうしてもあると思います。電話やインターホンで家人の不在を確認する犯罪の手口は多くあります。子どもを残して家を出る時は他人に子どもしかいないことを悟らせてはいけません。

留守番中の対応については、子どもの性格、成長の度合い。住環境などによって何が最善の方法かが変わってきます。実際に起こりうる場面を想定して、いざという時に子どもが行動できるように、家庭でよく話し合しましょう。

(子どもを守る防犯ボランティア 防犯力アップテキスト Vol.1 より)

見守りの知識



響きあう石内ネットワーク

ハートの願い

地域で手を取り合い 心が響いて
ネットワークが広がりますように...

